

CHOFU

本体取扱説明書

保証書付

石油瞬間給湯器(直圧式)

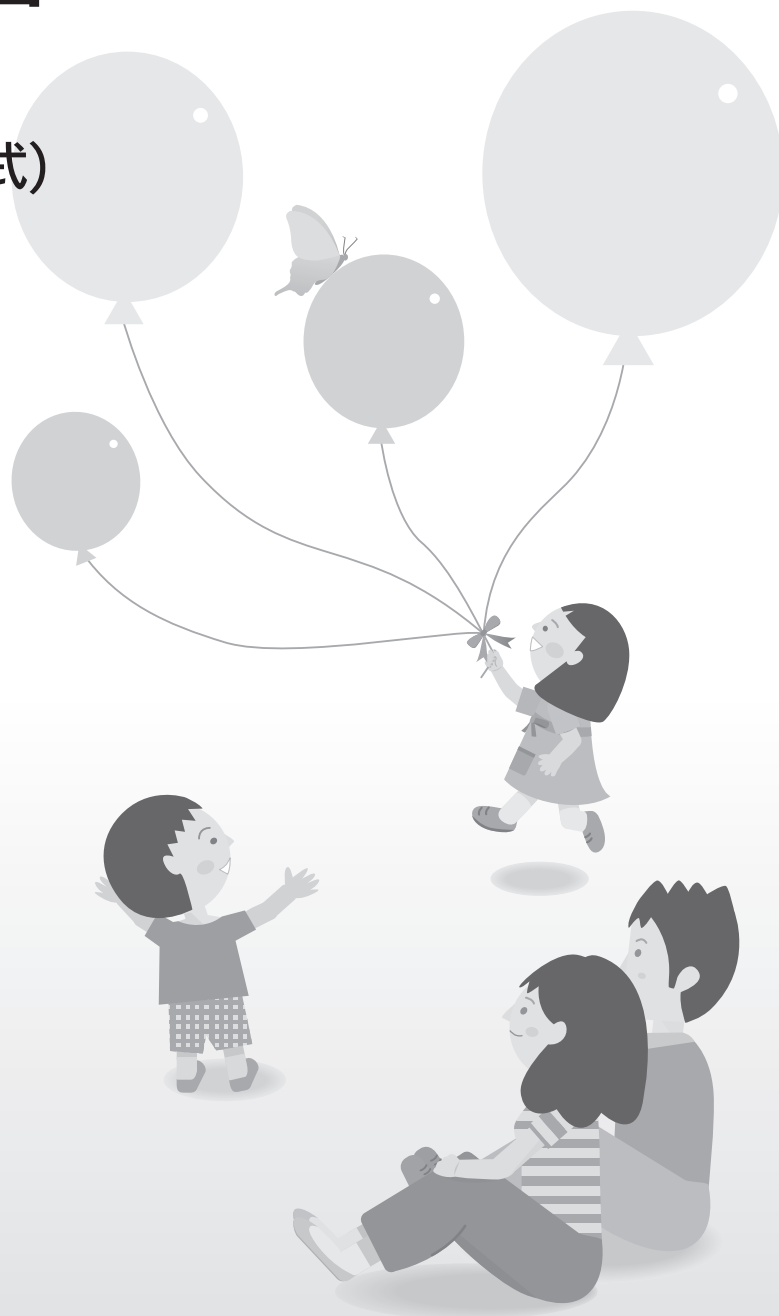
型名

〔石油小形給湯機〕

IB-4770DKF

IB-4770DKF-L

IB-3970DKF



ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20925743 (DU)

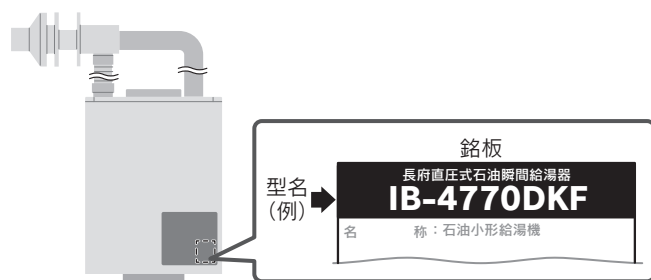
取扱説明書をお読みになる前に

機器の能力タイプ・排気位置タイプ・リモコンのタイプを確認してください。

本書では必要な項目で機器の型名・能力タイプ・排気位置タイプ・リモコンのタイプを記載して説明しています。

☐ (太枠) 内に英字や ☒ (チェックマーク) を記入しておく、今後お読みになるときに役立ちます。

1 機器前パネルの銘板に表示している型名を確認してください。



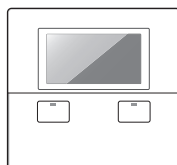
イラストは、排気位置タイプが標準排気(右排気)のものです。
本文中も、排気位置タイプが標準排気(右排気)のイラストを使用して説明しています。

2 型名から以下の表で能力タイプ・排気位置タイプを確認してください。

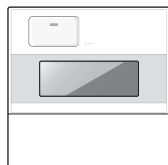
型名：IB-		70DKF	
	数字		英字
能力タイプ		排気位置タイプ	
47	☐ 4770	なし	☐ 標準排気(右排気)
39	☐ 3970	-L	☐ 左排気

3 ご自宅の台所リモコンでリモコンのタイプを確認してください。(スイッチの形が特徴となります。)

☐ 音声リモコン



☐ カンタンリモコン



困ったときは？

地震や火災が起きた！
▶ 7ページ

凍結を予防したい
▶ 15・16ページ

**お手入れは
どうしたらいいの？**
▶ 19～22ページ



**給湯器の動きが
いつもと違う**
▶ 24～26ページ

**リモコンにエラーコード
を表示している！**
▶ 27～29ページ

も く じ

ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に	2
	特に注意していただきたいこと	4
	各部の名称(外観図)	11
	ご使用前の準備と確認	
	(燃料)	12
	(給油)	12
	(油切れ予告装置について)	13
	(点火前の準備と確認)	14
必要なときに	冬期の凍結による破損防止について	
	(凍結予防)	15
	(水抜き後の再使用のとき)	17
	(凍結したとき)	18
	長期間使用しない場合	18
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	19
	定期点検	23
	法定点検	23
	故障かな？と思ったら	
	(修理を依頼する前に)	24
	(安全装置)	26
	(その他の装置)	26
	(エラーコード)	27
	部品交換について	29
	仕 様	30
	据付け	32
	試運転	32
	保証書	巻末
	アフターサービス	裏表紙

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している
取扱説明書で説明しています。

特に注意していただきたいこと

- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

やけどのおそれがあります。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●改造・分解禁止

絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ない、火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因になります。



子どもに注意する

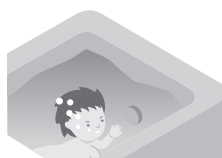
思わぬ事故の原因になります。



●子どもをお風呂にもぐらせない

●子どもを浴室で遊ばせない

●子どもだけで入浴させない



●太陽熱温水器と接続している場合の注意



必ずサーモスタット付混合水栓を使用して、お湯の温度を調節してください。
太陽熱温水器のお湯の温度がリモコンの給湯温度より高いときは、熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

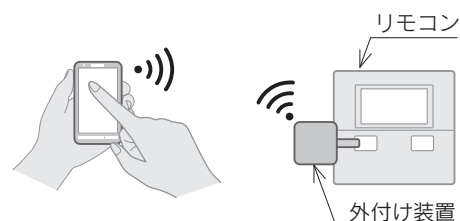


●外付け装置(*)による遠隔操作 厳禁



機器本体およびリモコンのスイッチの操作を、外付け装置を使用して行うと、思わぬ事故の原因になることがあるため使用しないでください。

※外付け装置とは、操作スイッチ付近に設置し、インターネット通信などを利用して機械的に操作スイッチを入/切できる装置のことです。



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
	ガソリン厳禁		濡れ手禁止
	分解禁止		接触禁止
	一般的な警告・注意		高温注意
	感電注意		アースを接続する
	電源プラグを抜く		

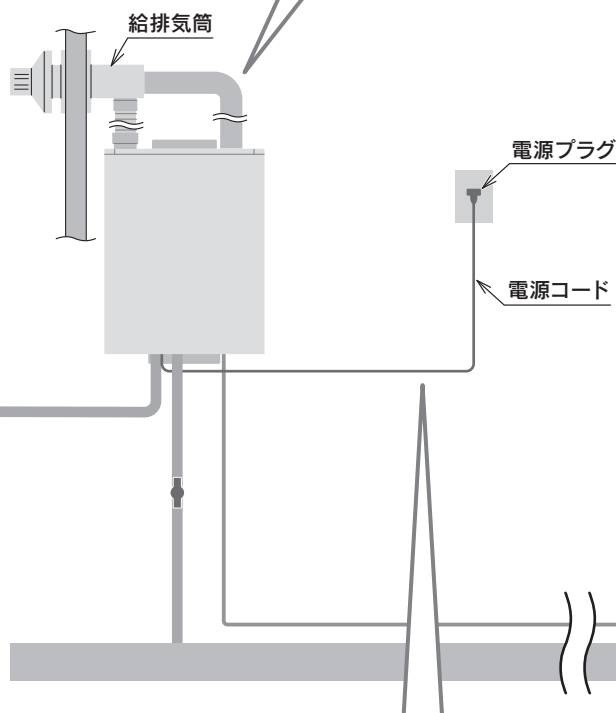
●給排気筒はずれ危険

給排気筒(管・ホース)がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多い地方では、給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●ガソリン厳禁

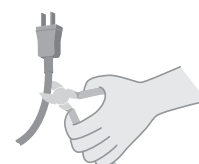
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



油タンク

●電源コードは切断して延長しない

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災・感電・発熱の原因になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

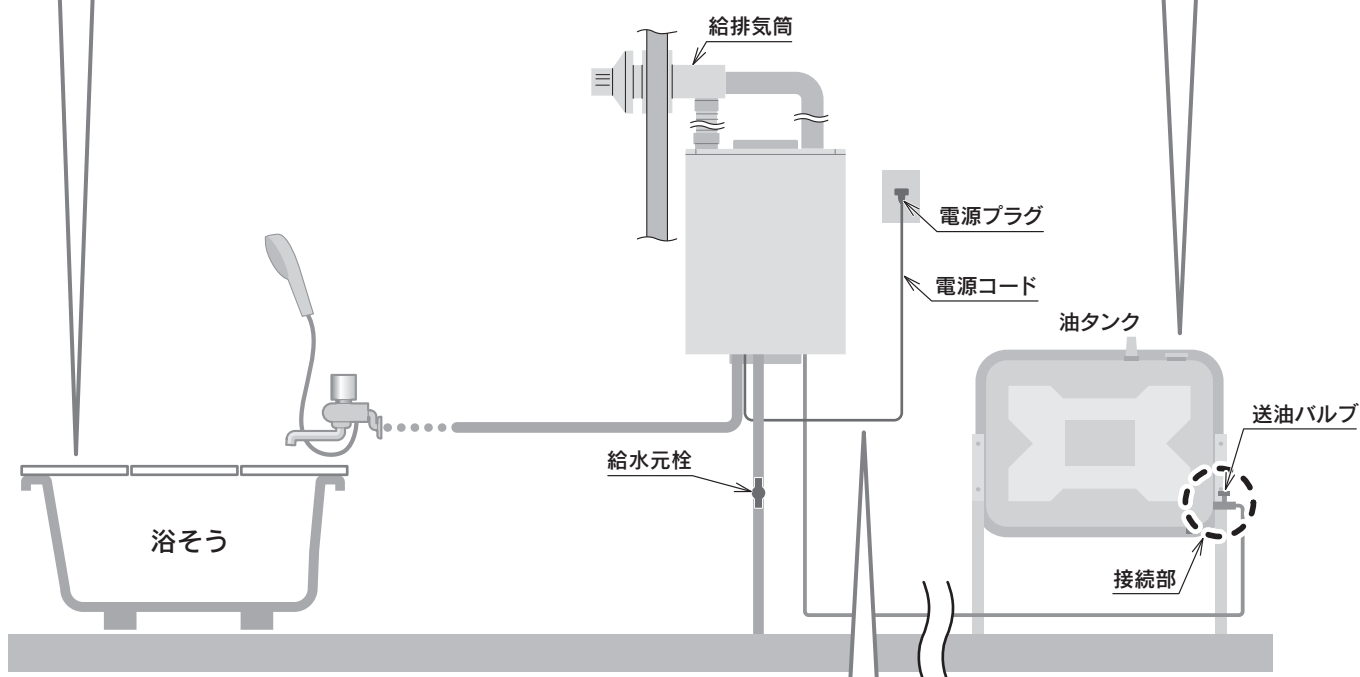
●おふろのふたに乗ったり、手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。



●油漏れに注意する

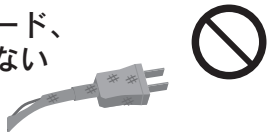
機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。火災の原因になります。



電源コード、電源プラグ、アースについて

●傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使用しない

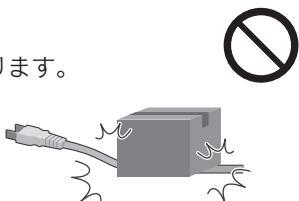
火災・感電・発熱の原因になります。



●無理な力を加えない

火災・感電・発熱の原因になります。

- ・無理に曲げない
- ・物を載せない
- ・引っ張らない
- ・衝撃を与えない



●電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

火災・感電・発熱の原因になります。



●傷つけたり、破損させたりしない

火災・感電・発熱の原因になります。



●電源コードを束ねたままで使用しない

火災や発熱の原因になります。



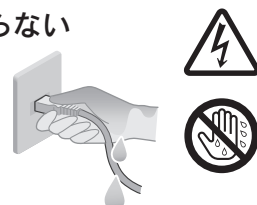
●電源プラグを抜いて停止させない

火災や故障の原因になります。



●電源プラグを濡れた手で触らない

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。



地震や火災などの緊急時の処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
凍結のおそれがあるときは、電源プラグを抜かないでください。
(凍結による故障拡大を防ぐため)
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

異常・故障時使用禁止



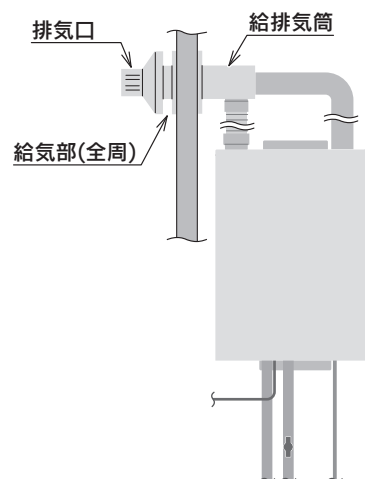
使用を続けると事故の原因になります。

1. 以下の場合にはすぐに使用を中止する
 - ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
 - ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
 - ・ ススが出る
 - ・ 油が漏れている
2. 「故障かな？と思ったら」に従って処置を行う
24～29ページ
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する

高温部接触禁止



- 燃焼中や消火直後は高温部（機器・給排気筒）に手など触れない
やけどの原因になります。



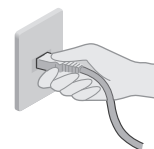
● 電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



● 電源プラグは確実に差し込む

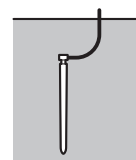
火災・感電・発熱の原因になります。



※バックアップ電源ユニットと接続した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから、給湯器の電源プラグおよびバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

● アースを確認する

この機器はアースが必要です。アースが接続されていない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。感電の原因になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすい物を置かない

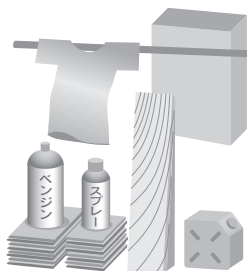
新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。
火災の原因になります。



- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

爆発や火災の原因になります。

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



- ゴム製送油管の点検・交換をする

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。

ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



- ゴム製送油管の屋外使用禁止

屋外では必ず金属管(銅管など)を使用し、ゴム製送油管は絶対に使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。



- 家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



使用上の注意

- 給湯・シャワー以外には使用しない
思わぬ事故の原因になります。



- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意する



使用直後は熱湯が排水されることがありますので、やけどのおそれがあります。

機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。

- 純正部品を使用する

当社純正部品を使用しないと事故や故障の原因になります。



- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

お客様ご自身で行うと、火災・感電・事故の原因になります。



- 長期間使用しないとき

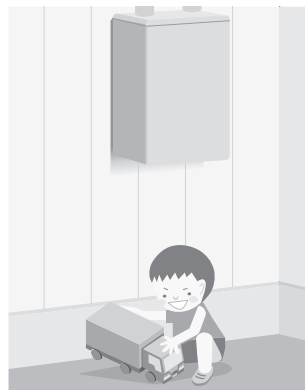
「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。**16ページ**
火災や思わぬ事故の原因になります。



- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



思わぬ事故の原因になります。



お願い

停電時の注意

●停電したときは給湯栓を閉める

停電すると運転が停止します。
停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。**15・16ページ**

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯(水)は飲用や調理に使用しない

飲用や調理に適さないお湯(水)が配管にとどまる場合がありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分にお湯(水)を流してから使用してください。

雷発生時の注意

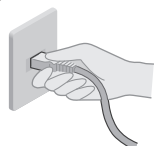
●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷するおそれがあります。



●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因になります。



使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。

●給排気筒トップの下に物を置かない

給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
下に物などを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

●800m以上の高地で使用するときはご相談ください

標高800～1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,300mを超える場所では使用できません。

燃焼不良の原因になります。

●水道水を使用する

地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

●リモコンの運転スイッチが「切」のときは給湯栓を開けない

リモコンの運転スイッチが「切」のときに給湯栓を開けて大量の水やシャワーを使用すると、機器内の通水部が結露して機器の寿命を縮めます。

●冬期の入浴について

冬期など浴室や脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)により、特に高齢のかたは入浴事故につながるおそれがあります。

入浴前に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めてください。浴室で使用できる暖房機器がない場合でも、お風呂にふたをしないでお湯はりをしたり、シャワーでお湯を流したりして浴室を暖めることができます。

特に注意していただきたいこと

お願い

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



以下の場合は取扱説明書に従って処置を行う

●リモコンにエラーコードを表示したとき

27～29ページ

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

●凍結のおそれがあるとき 15・16ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

排ガスについて

●ペットや植物やなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない

●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

変色・破損・腐食の原因になります。



混合水栓について

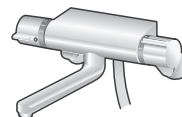
●通水抵抗が少ない物、シャワーヘッドの圧力損失が少ない物を使用する

通水抵抗や圧力損失が大きいと、出湯量減少の原因になります。

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用を推奨する

2ハンドル混合水栓やシングルレバー混合水栓を使用しているときは、熱いお湯が出て、やけどのおそれがあります。



機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

雑用水として使用してください。

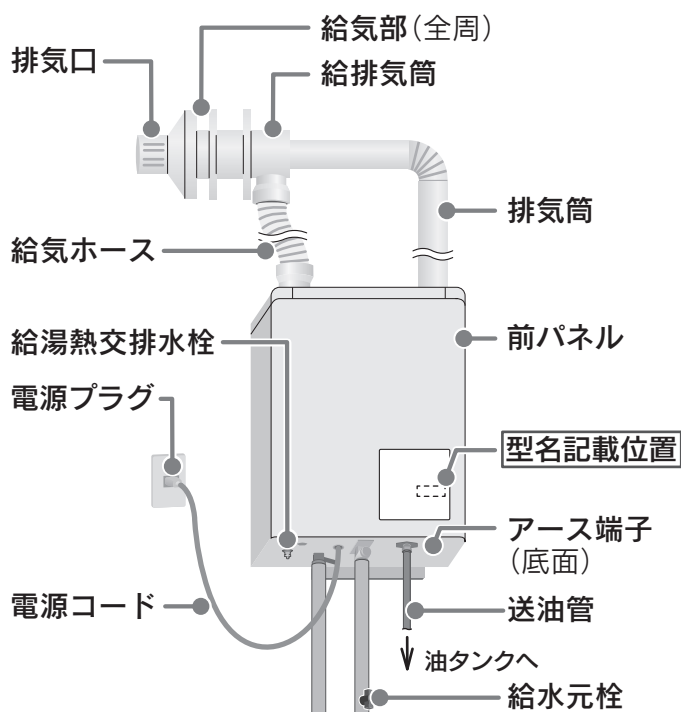
水質の変化により健康を害する原因になります。

各部の名称

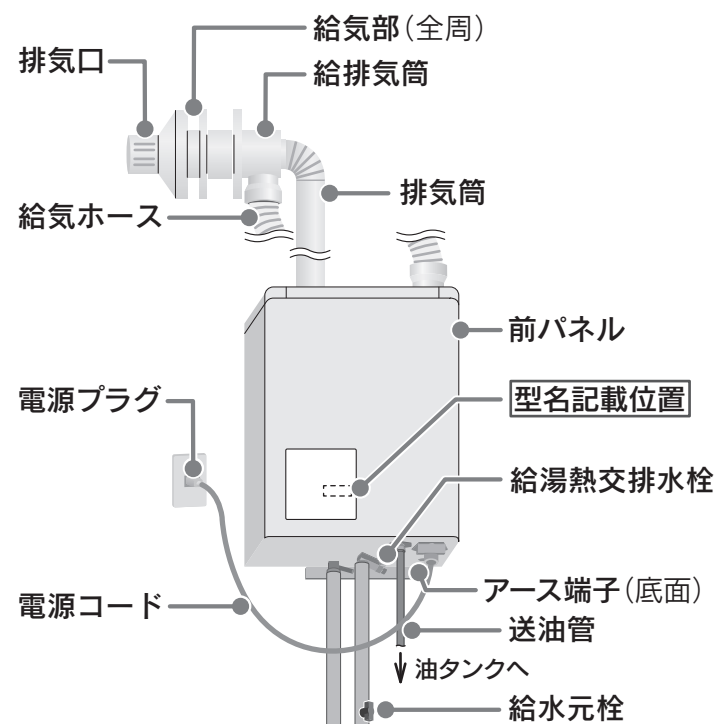
外観図

イラストはイメージです。

排気位置タイプ：標準排気(右排気) 2ページ

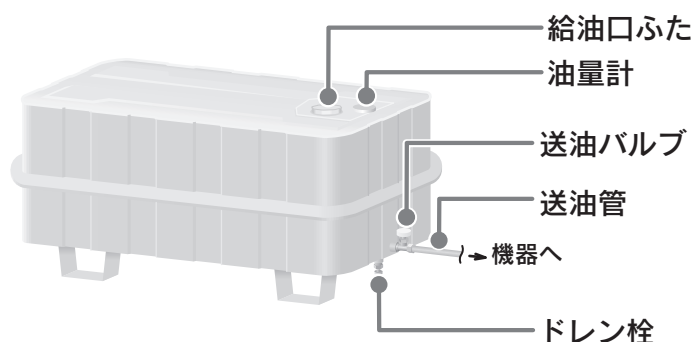
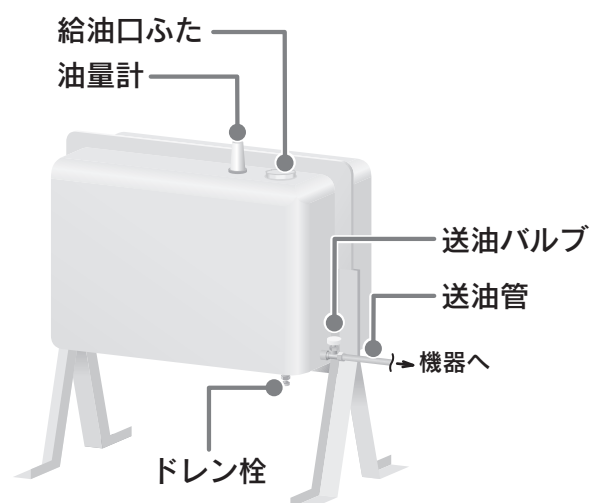
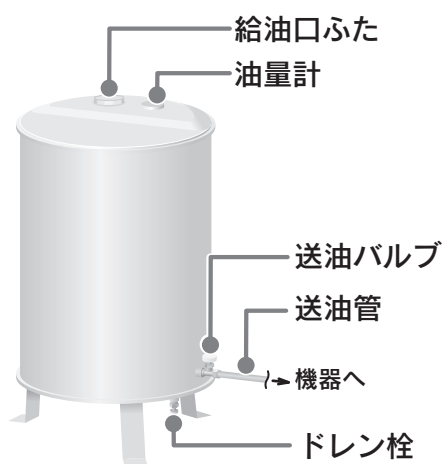


排気位置タイプ：左排気 2ページ



油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なります。)



使用前に

必要ときに

ご使用前の準備と確認

燃料

⚠ 警告

- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他の物が混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

⚠ 注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

- 燃料切れを起こさないように、こまめに灯油の残量を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- 燃料切れをしたときは、リモコンに「111」または「121」のエラーコードを表示します。**27・28ページ**
給油後にリセットをして給湯栓を開けると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。
(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「111」または「121」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセットをして給湯栓を開ける操作を行ってください。)
- リセットをして給湯栓を開ける操作を2～3回行っても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
リセットをして給湯栓を開ける操作を約8回繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。
- リセットの方法
リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。

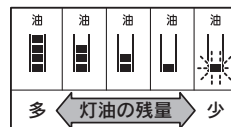
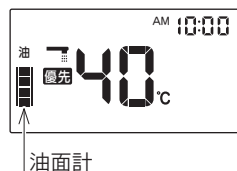
油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取り付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。
- 油タンクに複数の機器を接続している場合でも使用できます。

OC-5を取り付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 灯油の残量が少なくなると油面計の1段目が点滅するとともに、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定方法は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。

例 音声リモコン

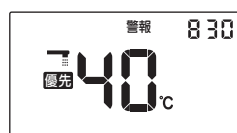


は点滅を表します。

OC-31を取り付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(油面計は表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

例 音声リモコン



エラーコード

ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器・給排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすい物や引火性危険物、排ガスによって悪影響を受ける物を置かないでください。**8・10ページ**
排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。**19ページ**

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

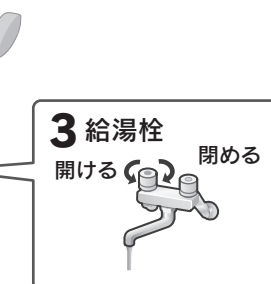
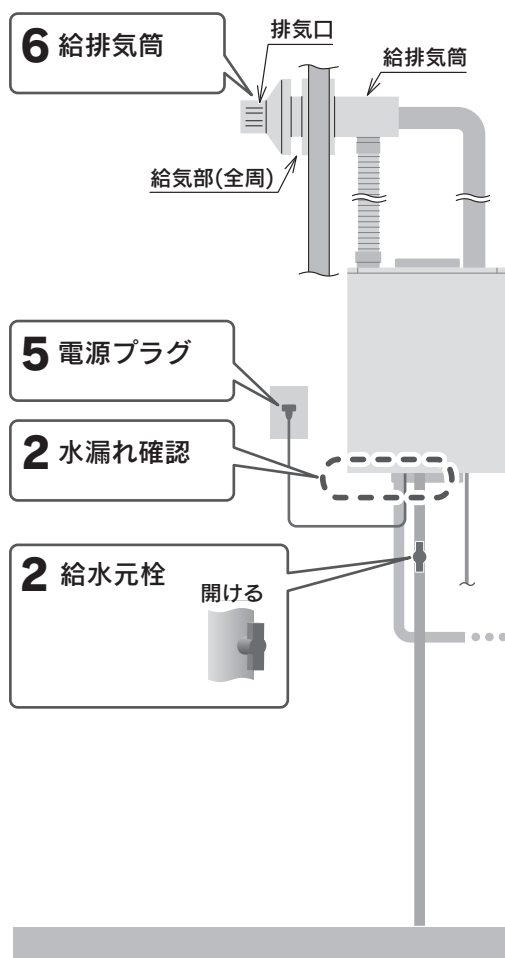
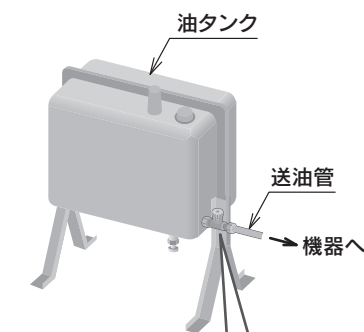
油タンクや送油管の接続部などから油漏れしていないことを確認してください。

5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100V専用です。AC200Vに接続すると機器が破損します。

6 給排気筒を確認する

給排気筒の接続部に緩みやはずれがないことを確認してください。
緩みやはずれがあるときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)
- ※バックアップ電源ユニットを接続して、バックアップ運転を行っているときは凍結予防装置が作動しません。
- 凍結のおそれがあるときは、使用後に「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

凍結予防

凍結予防には「凍結予防装置による方法(自動)」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

凍結予防装置による方法(自動)

外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。

電源プラグが差し込まれていることを確認する

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので、十分に保温してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。
- 凍結予防装置は、リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
- 停電の場合は、凍結予防装置が作動しません。停電するおそれがあるときは、「じゃ口から水を流す方法」か「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、「凍結予防装置による方法(自動)」に加えてじゃ口から少量の水を流して、給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 給湯栓を開ける

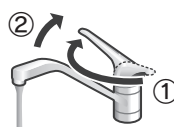
じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



- 2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける



- シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける



- サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 水を流すじゃ口は屋内の1箇所で大丈夫です。お風呂に水をためると洗濯などの雑用水として使用できますので無駄になりません。(お風呂にじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切り替えてお風呂に流してください。)
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。

冬の凍結による破損防止について

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときやじゃ口から水を流さずに電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。

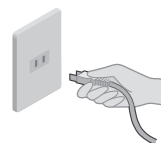


警告

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。
熱湯が排水されることがありますので、やけどに注意してください。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 2分間以上経過してから電源プラグを抜く



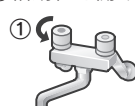
3 給水元栓を閉める

4 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

開けた給湯栓は、再使用するときまで開けたままにしてください。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

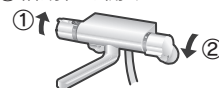
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

5 水フィルタ・過圧逃し弁・給湯熱交排水栓をはずす

水が出ますので、受皿などを準備して水を受けてください。

水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

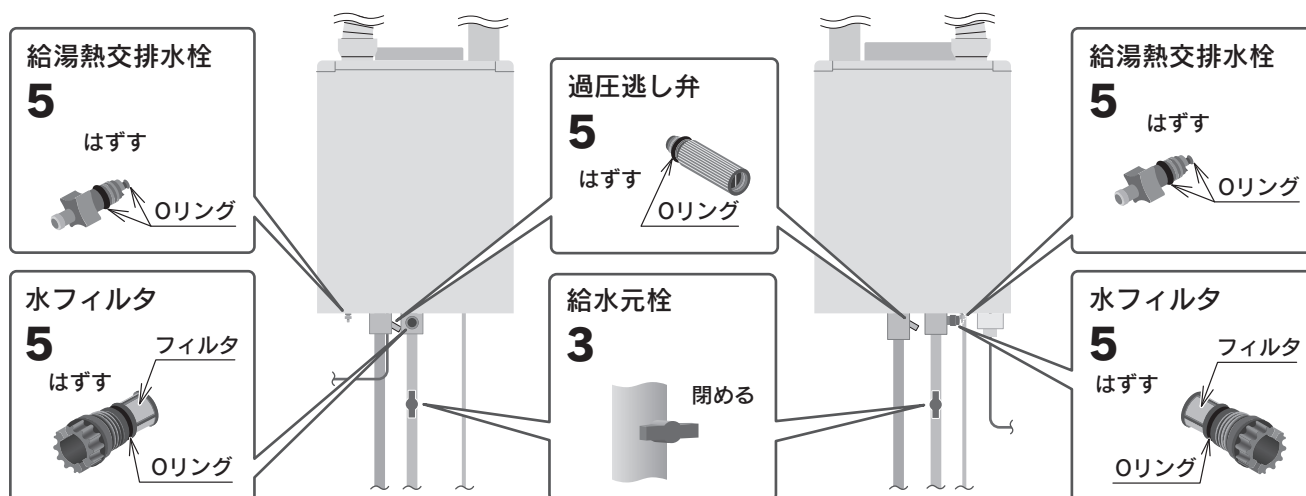
水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

水抜き終了後、水フィルタ・過圧逃し弁・給湯熱交排水栓は、次にお使いになるまではずしたままにしてください。

(はずした部品は、なくさないように注意してください。また、水フィルタのフィルタを変形させたり、水フィルタ・過圧逃し弁・給湯熱交排水栓のOリングを傷つけたりしないように注意してください。)

排気位置タイプ：標準排気(右排気)

排気位置タイプ：左排気



お知らせ

●再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 17ページ

水抜き後の再使用のとき

1 水フィルタ・過圧逃し弁・給湯熱交排水栓を取り付ける

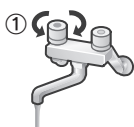
2 給水元栓を開ける

3 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける / 閉める



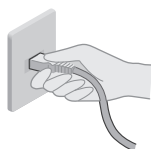
●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

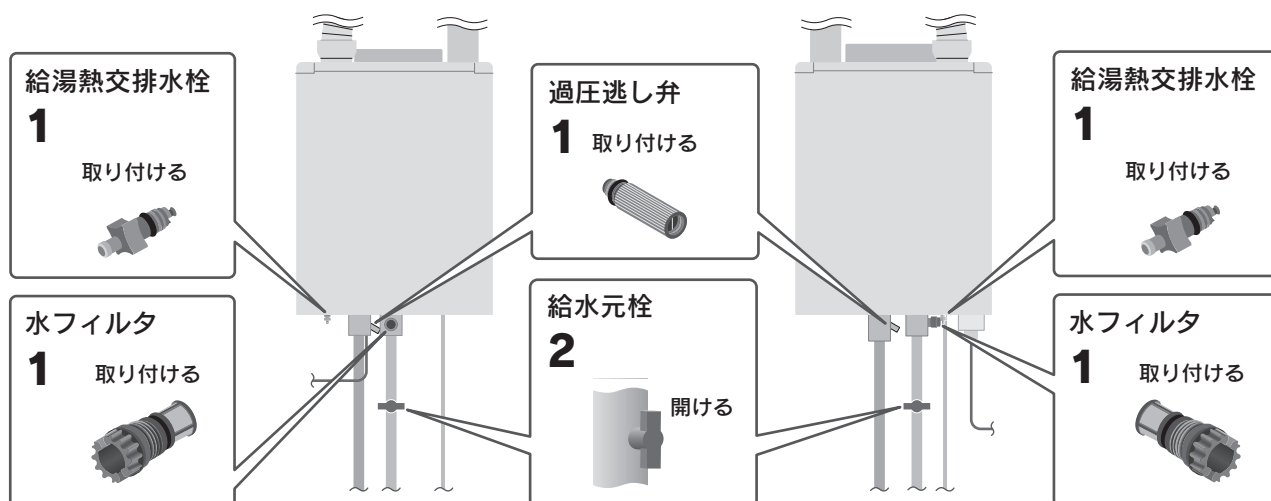
4 電源プラグを差し込む



5 「点火前の準備と確認」(14ページ)とリモコンに付属している取扱説明書に従って使用する

排気位置タイプ：標準排気（右排気）

排気位置タイプ：左排気



お知らせ

●凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「651」「661」を表示することがあります。27・28ページ

冬の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチが「入」のときは「切」にする

2 ときどき、給水元栓を開けてから給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度給湯栓を開けてください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

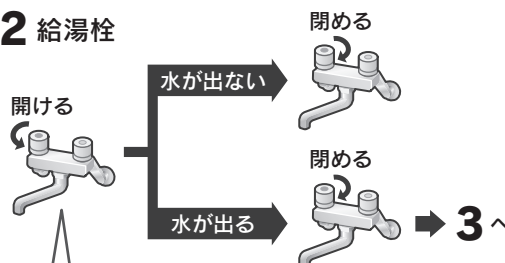
3 すべての混合水栓の給水栓と給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、機器や配管が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

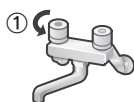
4 「点火前の準備と確認」(14ページ)とリモコンに付属している取扱説明書に従って使用する

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

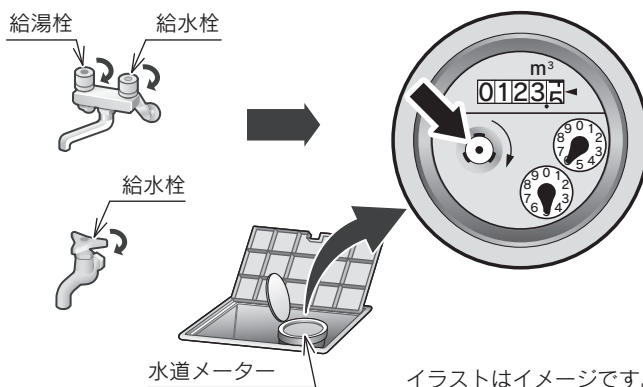
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 閉める

回っていないこと



長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。16ページ

日常の点検・手入れ

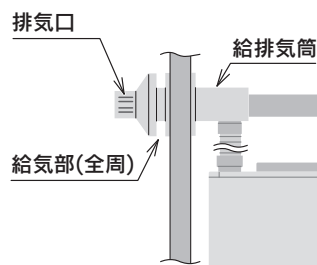
点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部には十分に注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

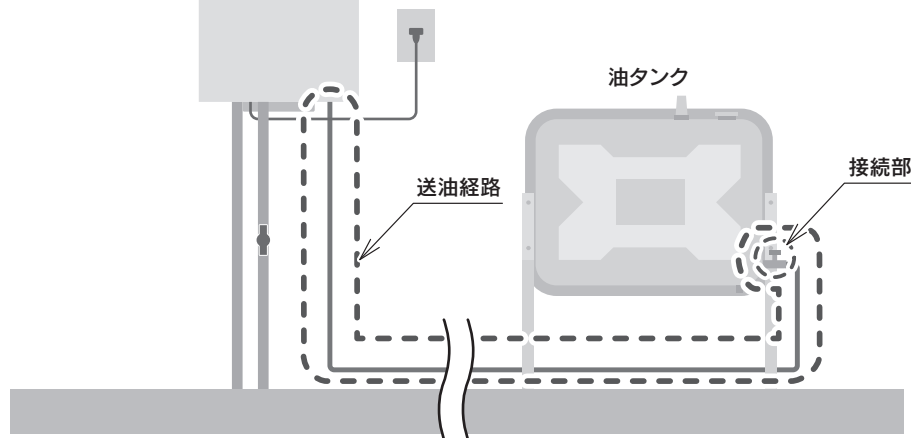
点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日



給排気筒の接続部の緩み、外観

給排気筒の接続部に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・給気排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすい物がないことを確認してください。

機器外観

- 排気口・給気部
ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。
- 外装
部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

日常の点検・手入れ

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

- 水や化学ぞうさんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

水フィルタの掃除

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除してください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する ※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますので、受皿などを準備して水を受けてください。
(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)

掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングに傷をつけたりしないように注意してください。

水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

4 水フィルタを元通りに取り付ける

5 給水元栓を開ける

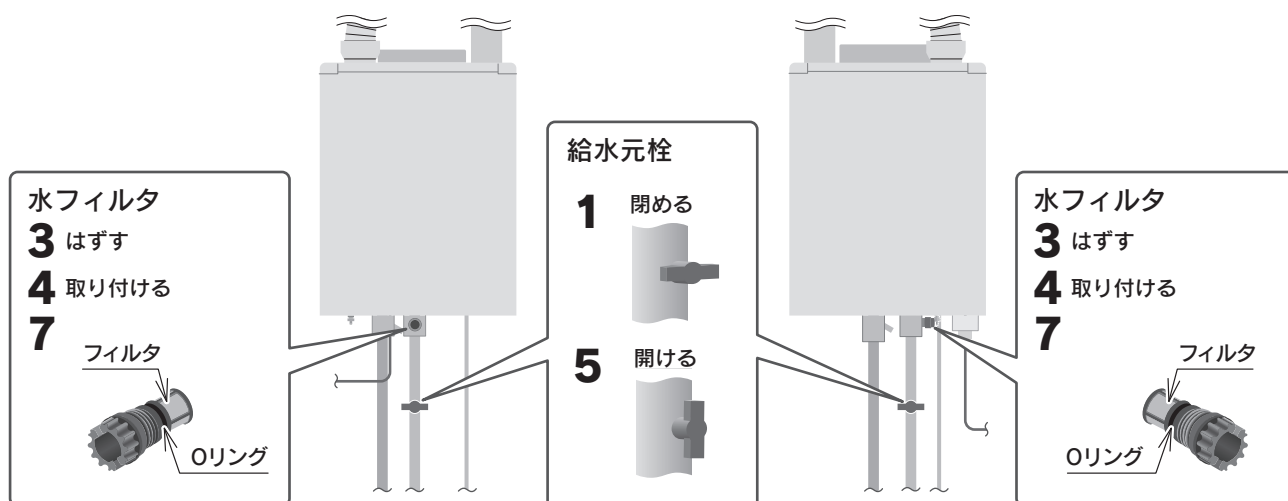
6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

排気位置タイプ：標準排気（右排気）

排気位置タイプ：左排気

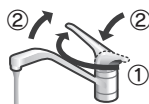


給湯栓 2 6

●2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

日常の点検・手入れ

1年に1回以上

油ストレーナ (機器内部) の点検

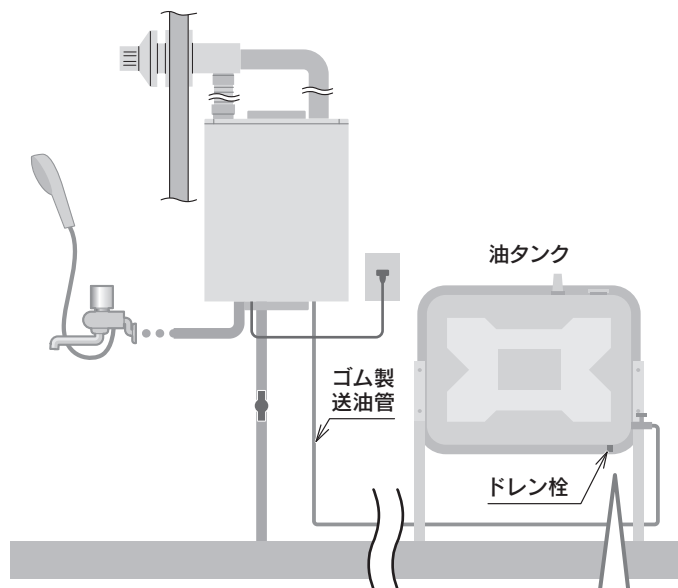
油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

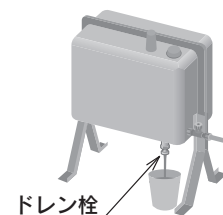
ゴム製送油管の点検・交換のめやす

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。
(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。
(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。
ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入の上、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	● 断水していませんか。 ● 給水元栓が全開になっていますか。 ● 配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 18ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 12ページ ● 給湯栓をもう少し開けてください。じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最少の流量は、毎分約2.5リットルです。 ● リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ● 水フィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 21ページ ● 給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。
	お湯の出が悪い	● サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高く設定するとシャワーの勢が強くなります。 ● ECOスイッチを「入」にしていると、ECO機能が作動し出湯量が減ることがあります。(※1)
	お湯が出なくなった	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 12ページ ● 給湯栓を絞りすぎると(毎分約2.5リットルより少ない場合)点火しないことがあります。 ● 安全装置の作動が考えられます。 26ページ リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 27・28ページ ・ 対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・ 燃焼制御装置の場合 「111」・「121」・「130」・「510」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・ 異常過熱防止装置の場合 「150」・「160」・「590」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	停電後、復帰したのにお湯が出ない	● 停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	● 配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい (設定した給湯温度にならない)	● リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定した給湯温度よりも低くなる場合があります。 ● サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。 ● 1箇所のみ混合水栓のお湯の温度が設定した給湯温度にならないときは、混合水栓の故障が考えられます。
	お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	● お湯を出したり止めたりを繰り返していませんか。 ● 2箇所以上でお湯を使用していませんか。 ● 水道の圧力が変動していませんか。
	低温のお湯が出ない	● 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。 ● 太陽熱温水器と接続している場合は、太陽熱温水器のお湯が給水されるため、低温のお湯が出ないことがあります。

	こんなときは	確認してください
シャワーやジャロ	高温のお湯が出ない	● リモコンの給湯温度の設定が低くなっていませんか。
	給湯温度が変更できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切り替えてください。
	お湯が白く見える	● 水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

機器	排気口から湯気が出る	● 排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音がする	● 機器内の排ガスを排出するため、送風機が動いている音です。異常ではありません。
	過圧逃し弁からお湯(水)が出る	● 燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	運転前や停止後に機器から音がする	● お湯の温度を調節するための部品が動いている音です。異常ではありません。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	● 「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 12ページ

リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	● 停電していませんか。 ● 電源プラグが差し込まれていますか。 ● その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 26ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	● 使用中は表示画面(表示部)が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない (※1)	● チャイルドロックが設定されていませんか。 リモコン取扱説明書参照
	表示画面(表示部)が省エネモードにならない 表示画面(表示部)のバックライトが暗い、または消灯している	● 「表示画面省エネモード」(※1)または「表示部省エネモード」(※2)の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	音声案内をしない、または小さくなった(※1)	● 「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ● スピーカーに水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	● 「操作音量」(※1)または「操作音」(※2)の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	操作していないのに音が出る	● 他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面(表示部)の色が変化する	● 表示画面(表示部)を正面以外から見ると表示色に変化して見えることがあります。また、表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面(表示部)の切り替わりが遅い	● 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。
	時計を表示しない	● 現在時刻を設定してください。 リモコン取扱説明書参照

※1 音声リモコンの場合

※2 カンタンリモコンの場合

2ページ

故障かな？と思ったら

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常燃焼したときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたりしたときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
異常過熱防止装置	熱交換器が異常過熱したときに作動して運転を停止します。
温度ヒューズ	
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。凍結のおそれがなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ	
過圧逃し弁	熱交換器の圧力が異常に上昇したときに作動して圧力を逃がします。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し ^(※) 少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

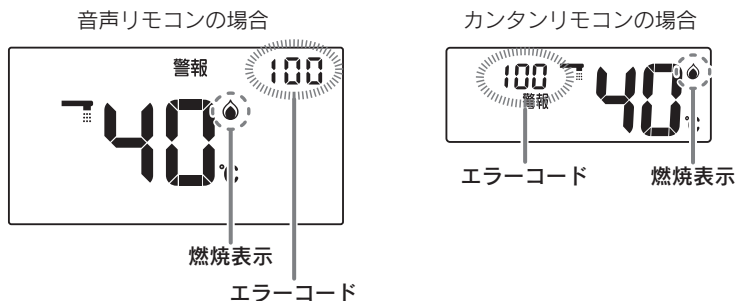
※ 灯油の残量を表示しないタイプもあります。 **13ページ**

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

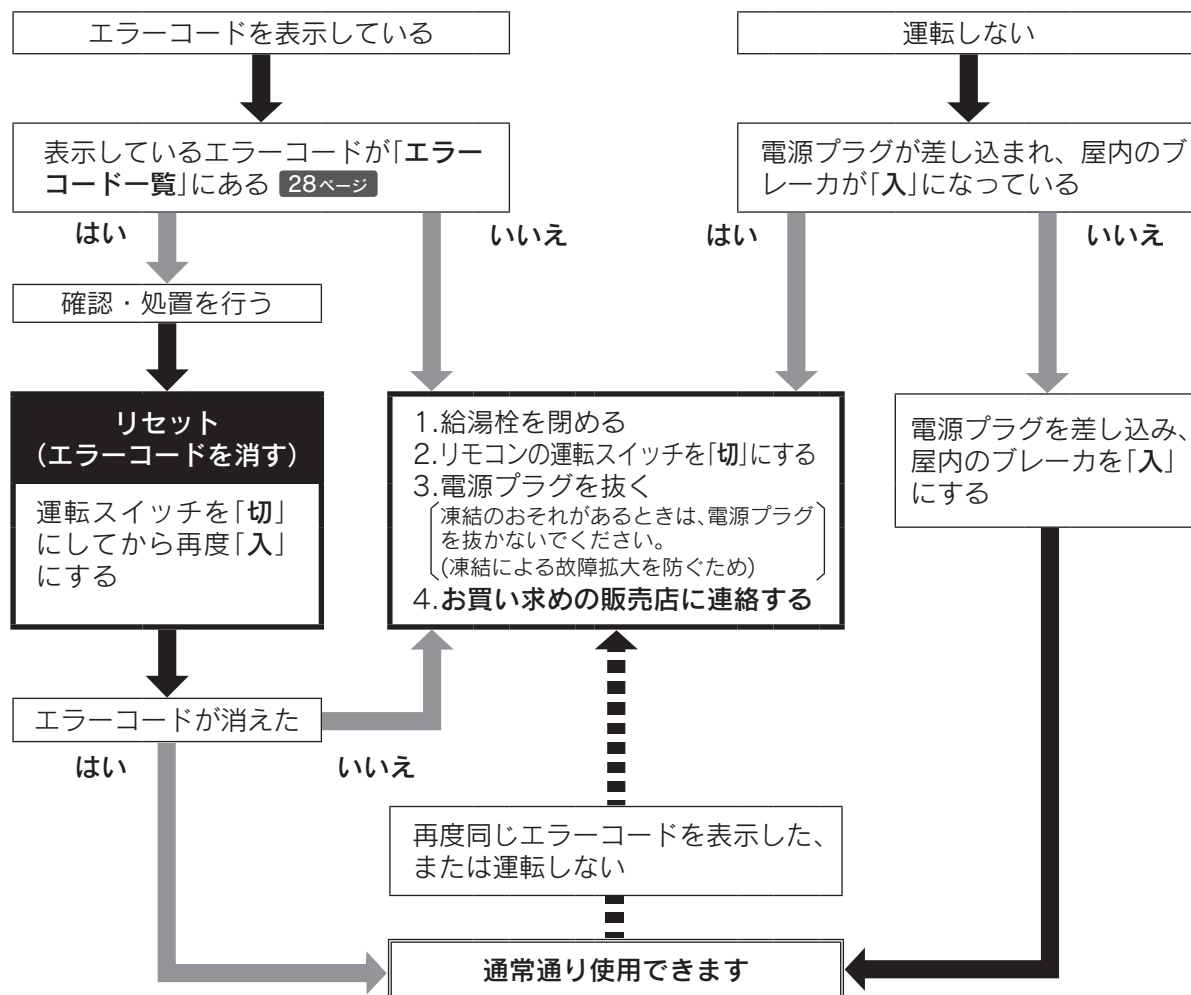
エラーコード表示位置

表示画面(表示部)は説明のためのもので実際とは異なります。



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

● 以下の処置を行ってください。



故障かな？と思ったら

エラーコード一覧

●記載していないエラーコードを表示したときは、使用を中止してお買い求めの販売店にご連絡ください。
 (「リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」参照 [27ページ](#))

エラーコード	説 明	確 認・処 置
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
111	着火できない	油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブが充分開いていることを確認してください。
121 510	燃焼中に火が消えた	(燃料切れをしていた場合は、給油後リセットをして給湯栓を開ける操作を2～3回行ってください。約8回リセットをして給湯栓を開ける操作を繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 12ページ)
301	外気温を検知できない (警告表示)	使用できますが、凍結予防装置が作動しません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 凍結のおそれがあるときは「 じゃ口から水を流す方法 」を行ってください。 15ページ
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 使用できますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「 油切れ予告装置(OC-5) 」を取り付けていないのに、エラーコード「480」が表示されたときは設定を解除してください。 29ページ
611 721	部品の異常を検知した	リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にしてください。(リセット)
651	水比例弁異常 (警告表示)	機器に給水した後、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから電源プラグを5秒間以上抜いた後、差し直してください。
661	混合弁異常	
740 750 760	通信異常	電源プラグを5秒間以上抜いた後、差し直してください。 (リセットは必要ありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31) を取付時)	油タンクに給油してください。
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「 点検時期をお知らせする機能 」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用できますが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連 絡 先：株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9：00～17：00 ※年末年始を除く

■警告表示

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

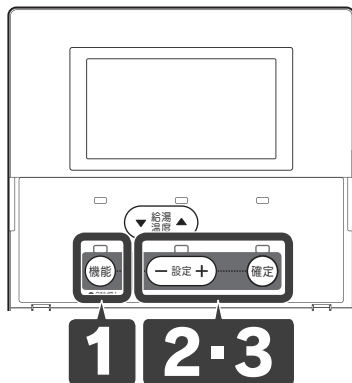
運転中に誤作動したときは

●万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったりしたときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法

音声リモコンの場合

台所リモコン



1 機能 を押す

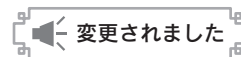
2 設定+ を押して機能設定「21」を選び 確定 を押す

3 設定 を押して「oFF」を選び 確定 を押す

設定内容

oFF←0←2←4～116←118←120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



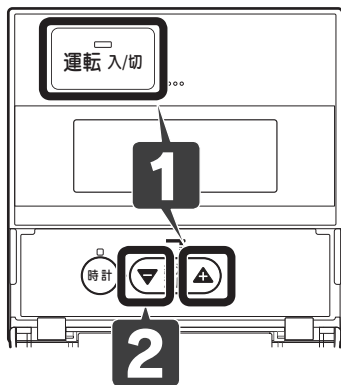
お知らせ

- 設定を途中でやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

ふたを閉じると通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

カンタンリモコン場合

台所リモコン



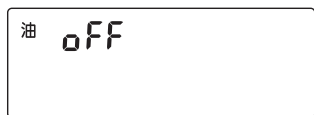
1 運転 入/切 と + を同時に5秒間押す

2 減 を押して「oFF」を選ぶ

設定内容

oFF←0←2←4～116←118←120

1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。



運転スイッチを押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 給排気筒のOリングは、「FKM-70 (フッ素) (JIS B2401-1) P70」を使用しています。

仕 様

型名	IB-4770DKF		IB-4770DKF-L	
型式の呼び	IB-477			
種類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形			
	屋内用密閉式強制給排気形			
点火方式	高圧放電式			
最低作動水量	2.5±0.5L/min			
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)			
燃料消費量	53.8kW (5.23L/h)			
連続給湯効率	86.5%			
連続給湯出力	46.5kW (40,000kcal/h)			
熱交換器容量	0.8L			
使用圧力 (最高使用圧力)	1.0MPa (10kgf/cm ²)			
伝熱面積	0.23m ²			
外形寸法	高さ600mm 幅470mm 奥行278mm			
質量 (満水時)	26kg (27kg)			
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz			
定格消費電力	点火時：70/65W 燃焼時：125/120W			
待機時消費電力	音声リモコンの場合：1.7W カンタンリモコンの場合：1.6W			
電源コードの長さ	2.2m			
給排気筒の型式の呼び	FF-70-062 / 062K または FF-70-082 / 082K または FF-70-082R / 082RK			
	FF-70-062L / 062LK		—	
給排気筒の呼び径	D70			
給排気筒の壁貫通部の孔径	120mm			
排気温度	260℃以下			
騒音レベル	46dB (室内・正面)			
電流ヒューズ	10A			
送風機ヒューズ	3A			
温度ヒューズ	184℃			
	—		133℃	
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置			
その他の装置	異常過熱防止装置・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・温度ヒューズ 過圧逃し弁・油切れ予告装置 (別売部品)			
付属品	ゴム製送油管・ビニルホース (金具付)・木ねじ・タッピンねじ (リモコン取付用) 取扱説明書 (保証書付)・工事説明書・所有者票袋・給排気筒一式 (別梱包)			
	—		リモコンコード (機器取付用)	
区分名 (省エネ法)	I			
構造名 (省エネ法)	I-1			
エネルギー消費効率 (モード)	86.0%			

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
40℃	19L/分	27L/分	32L/分
50℃	15L/分	19L/分	27L/分
60℃	12L/分	15L/分	19L/分
65℃	11L/分	13L/分	17L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

型名	IB-3970DKF
型式の呼び	IB-397
種類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形 屋内用密閉式強制給排気形
点火方式	高圧放電式
最低作動水量	2.5±0.5L/min
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)
燃料消費量	44.8kW(4.35L/h)
連続給湯効率	87.0%
連続給湯出力	39.0kW(33,500kcal/h)
熱交換器容量	0.8L
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm ²)
伝熱面積	0.23m ²
外形寸法	高さ600mm 幅470mm 奥行278mm
質量(満水時)	26kg(27kg)
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力	点火時：70/65W 燃焼時：105/100W
待機時消費電力	音声リモコンの場合：1.7W カンタンリモコンの場合：1.6W
電源コードの長さ	2.2m
給排気筒の型式の呼び	FF-70-062 / 062K または FF-70-082 / 082Kまたは FF-70-062L / 062LKまたはFF-70-082R / 082RK
給排気筒の呼び径	D70
給排気筒の壁貫通部の孔径	120mm
排気温度	260℃以下
騒音レベル	45dB(室内・正面)
電流ヒューズ	10A
送風機ヒューズ	3A
温度ヒューズ	184℃
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置
その他の装置	異常過熱防止装置・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・温度ヒューズ 過圧逃し弁・油切れ予告装置(別売部品)
付属品	ゴム製送油管・ビニルホース(金具付)・木ねじ・タッピンねじ(リモコン取付用) 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋・給排気筒一式(別梱包)
区分名(省エネ法)	I
構造名(省エネ法)	I-1
エネルギー消費効率(モード)	86.0%

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
40℃	16L/分	22L/分	32L/分
50℃	12L/分	16L/分	22L/分
60℃	10L/分	12L/分	16L/分
65℃	9L/分	11L/分	14L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
 ※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書をご覧ください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据え付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

- 工事説明書の「試運転」に従って行ってください。

長府石油瞬間給湯器(直圧式)保証書(販売店様控)

型 名	IB-4770DKF・IB-4770DKF-L IB-3970DKF		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器(直圧式)保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	IB-4770DKF・IB-4770DKF-L IB-3970DKF		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用情况の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
- (13) 公害による不具合
- (14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」[24～29ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	石油瞬間給湯器(直圧式)
型名	機器前パネルの銘板に記載されています。 2・11ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を目的
として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブと給水元
栓を閉めて、お買い求めの販売店に点検
・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1